

各務原市議会議員 大竹 大輔

かえで通信

平成28年7月
第12号

発行人
大竹大輔を育てる会
会長 伏見 幸久



ご挨拶

もうすぐ夏本番です！

体調をくずされませんようお元気でお過ごしください。

梅雨明けが近づいて参りました。梅雨が明ければ夏本番です！今年の夏は、なんと平均気温が32℃ほどの猛暑のようです。気象庁が、南米沖の海面水温が低くなる『ラニーニャ現象』が発生する可能性が高いと発表しました。日本が夏の時期にラニーニャ現象が発生すると、気温が高くなる傾向があるため、かなり高い確率で猛暑になるとのことです。熱中症対策をしっかりと、体調管理にご配慮下さい。

さて、先月は平成28年第2回各務原市定例会（6月議会）が開催され、一般質問では多くの皆さまに傍聴にお越し頂き心より感謝申し上げます。今後も地域の課題や地域の皆さまから頂きましたご提案など、一般質問の場にて、積極的に行政に質問して参ります。ご多用とは存じますが、今後も、傍聴にお越し下さいますよう宜しくお願い致します。

平成25年2月に初当選させて頂き、はや4年目を迎え、次の改選期まで約半年となりました。年齢と共に時の流れが速く感じると言いますが、議員になってから毎日、あっという間に時が流れたように思います。だからこそ一日一日がとても大切です。今月も、地域に根差した活動と共に子どもたちに夢を育み、高齢者の皆さまに安らぎある街づくりに全力で取り組んで参ります。何卒宜しくお願い致します！

大竹 大輔

平成28年第2回定例会6月議会報告

平成28年第2回定例会が6月3日から6月24日までの22日間の会期で開催されました。

第2回定例会では、平成28年度予算補正・条例改正など26案件が上程され、全て可決承認同意されました。また、今回の一般質問では、次の3項目について質問致しました。

平成27年度決算見込みと今後の財政運営について



問：平成27年度に予算化した事業の執行状況は？

答：地方創生に向けた取り組みに果敢に挑むため、「地方創生先行型交付金・地方創生加速化交付金」に対し、「かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル事業」等を積極的に申請し採択されるなど、国の交付金を活用した効果的な事業の実施に努めた。特に、「学校ICT化推進事業・小中学校冷暖房整備事業」により、快適な学習環境整備を進め、また、市民の安心・安全を確保するため、大規模災害時の活動拠点となる川島市民サービスセンターの整備の完了、鶯沼市民サービスセンター建設工事の着工、公共施設100%耐震化に向け取り組みを推進し、さらにふれあいバスにおいて、路線・ダイヤを大幅に再編するリニューアルを実施した。

問：平成27年度の決算見込額の収支状況及び基金現在高、市債現在高は？

答：一般会計において歳入決算が約497億6,100万円、歳出決算が約460億8,700万円となると見込んでいる。この差額である形式収支から翌年度への繰越額を差し引いた実質収支は、黒字となる見込みである。また、財政調整基金や減債基金など一般会計に属する基金の平成27年度末現在高は、約247億3,900万円となり、前年度末現在高と比べて約10億6,500万円増加する見込みである。これは、浅野市長が就任する直前の平成24年度末の現在高と比べると、約52億7,500万円増加の見込みである。また、市債現在高については、約360億4,900万円となり、前年度末現在高と比べ約18億2,200万円減少する見込みとなっている。

問：市税の収入見込み及び収納率、滞納繰越額の状況は？

答：市税収入は、法人市民税、個人市民税などの増収により、対前年度比約5億3,000万円増の213億円程度になる見込み。収納率については、対前年度比約0.5ポイント増の95.8%、滞納繰越額は対前年度比約6,000万円減の8億3,000万円程度になる見込みであり、収納率及び滞納繰越率は平成10年度以降、最も良い状況となる見込みである。

問：財政調整基金の活用については？

答：これまでより、年度間の財源調整や将来の財政需要への備えとして、決算上の剰余金の一部を確実に基金へ積み立てるなど、将来世代に過大な負担を残さない財政運営に努める。耐震性に問題がある本庁舎については、今般策定した「新庁舎建設基本計画」において、新庁舎建設に係る概算事業費を約80億～88億円と見込んでおり、その財源については、庁舎等整備基金を計画的に積み立て活用する。

子育て世代の就労支援について



問：本市の子育て世代への就労支援の現状は？

答：労働力人口が減り労働力が低下する今、女性や高齢者の活力は喫緊の課題である。そのような背景から、受け